

いつまでも健やかに・・・

—私たちの願いです。

環境経営レポート2023  
2023/04/01 ~ 2024/03/31



医療法人 玉昌会  
発行:2024/06/27



Save the earth

審査用

# 目次

章	項目	頁	対応するSDGsゴール
1	環境基本理念・環境経営及びSDGsへの取組宣言 環境経営方針	3	
2	EA21に向けての想い 医療・介護・福祉分野だからできるSDGs	4	
3	事業の概要、事業の規模・適用範囲、活動事業所	6	
4	環境経営システム体制・役割・権限	8	
5	経営における重要課題（マテリアリティ）をチャンスに	9	
6	新築病院と既存病院の二酸化炭素排出量の原単位比較 病院の低炭素社会実行計画(2030年度削減目標)に向けて	10	
7	外部コミュニケーション・地域のボランティア清掃 環境コミュニケーション及び教育・訓練記録	12	
8	環境活動計画	15	
9	環境経営活動計画実績及び中期目標と現状把握	16	
10	マテリアルバランス（事業活動による環境への影響）	20	
11	環境関連法等の遵守状況	21	
12	代表者による全体の評価と見直し	22	



## ● 環境基本理念

「いつまでも健やかに・・・－私たちの願いです。」  
の法人理念を柱に地域社会に医療・介護・福祉サービスを提供させて頂いている私たちは、今後も地域の皆さまと共に、より良い社会を築くために、企業活動においても地球環境を経営上の優先課題として環境経営に取り組めます。

## ● 環境経営及びSDGsへの取組宣言

医療法人玉昌会は、持続可能な社会をつくるために、カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けてCO<sub>2</sub>削減・省エネルギー・省資源廃棄物の削減に取り組み、それを継続的に改善してまいります。そして地球環境に配慮した環境経営を行う法人として「SDGs」への取組みを宣言します。



## ● 環境経営方針「Save the earth」

環境への負荷削減を始めとする環境保全活動に積極的かつ継続的に取り組み、環境経営を通し「SDGs」の実現に貢献するため、以下に環境経営方針を定めます。

1. 事業活動に関わる環境関連法・条例その他のコンプライアンスを徹底します。
2. 環境負荷の削減や環境改善を図るために下記事項に取り組めます。
  - ① 地球温暖化対策のため省エネルギーに取り組み二酸化炭素の削減に努めます。
  - ② 資源の有効的活用を図り、リデュース・リユース・リサイクルの3Rを推進します。
  - ③ 廃棄物の削減及び適正管理に努めます。
  - ④ 水使用量の削減に努めます。
  - ⑤ 化学物質の使用量の削減、安全な管理を行います。
  - ⑥ 医療、医療に特化した福祉サービスを効率的に提供し資源を有効的に活用します。
  - ⑦ 地域清掃活動を継続します。
3. この環境経営方針を推進するために、教育・研修を継続し全職員に周知します。

2012年8月1日 制定      2019年4月1日 改定

医療法人玉昌会 理事長 高田 昌実

# ■ EA21 (エコアクション21) に向けての想い

## エコアクション21への取組みの経緯

約12年前に「環境に取組みたい」と職員より提案があり、私自身も環境に対して興味はありながらもまだ漠然とした感覚でしたが、今後は、避けて通れない必須領域であり、確実にやってくる課題と捉え環境活動を始めました。

環境マネジメントには、「組織全体の関わりが求められる事、取組みやすさ、経費等」を考慮した結果、エコアクション21を選び「認証・登録」に向けてキックオフして2013年8月に審査を経て認証・登録事業所の認定を受け、以降取組みを継続してまいりました。

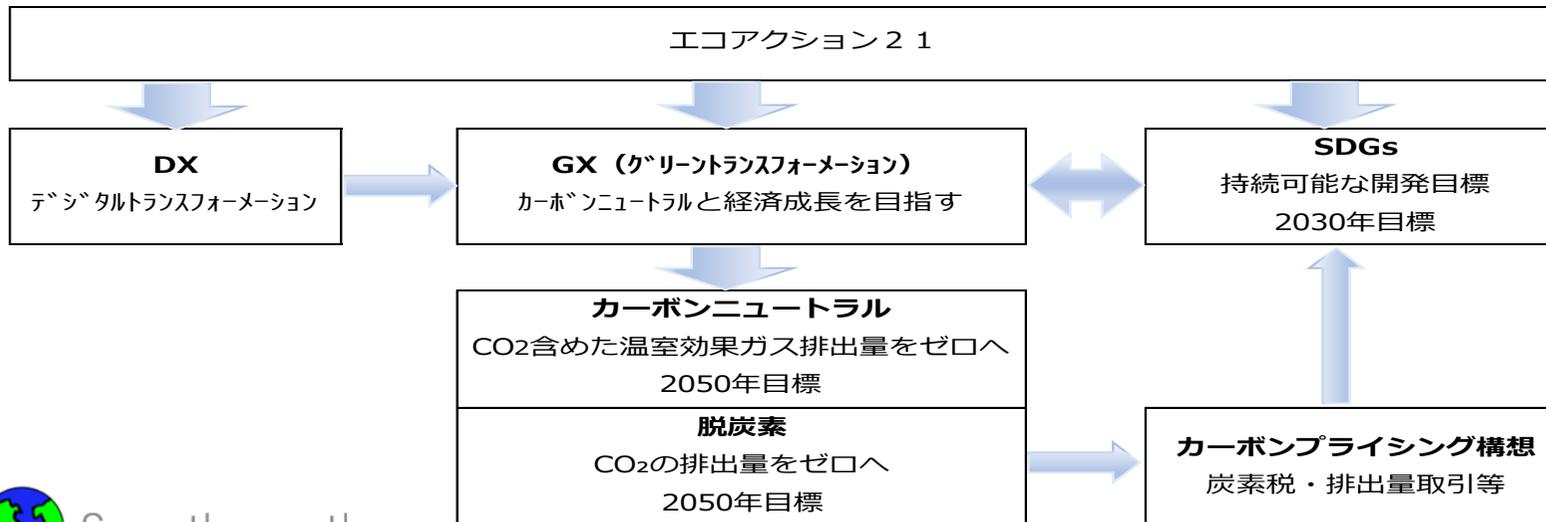
## 環境経営導入のメリット

導入するにあたり法人がコミットした「環境基本理念・環境経営方針」に沿って環境経営を推進しながら、新企画等へチャレンジをしているうちに自然と法人のコアメンバーにエコアクション21への関心が高まり、数年後には組織全体が「環境」を意識するようになりました。ボランティア清掃もその一つで、企画すると多くの職員の参加があります。これも職員の自然環境を大事に思う行動のひとつと考えています。

私共は、環境経営方針に沿って、CO<sub>2</sub>・水資源・廃棄物など削減目標に向けて活動しています。部門ごとのデータを分析することで、課題の改善に繋がります。環境活動について外部評価も、法人の位置づけとして大事だと考えています。一例として、エコアクション21九州における「環境経営レポート大賞」関連では2016年から2022年まで「レポート大賞部門賞5回、環境経営レポート大賞1回」を受賞してあります。DBJ（日本政策投資銀行）関連では2016年に「環境格付け」を取得。日本初の「ビジョナリーホスピタル最高賞」に輝きました、これもエコアクション21が12年前にスタートし、法人全体がチャレンジした結果と捉えています。また、クリーンオフィスかごしまの環境管理事業所認定制度における令和5年度優良事業所の表彰を受けました。更に「健康経営ホワイト500」等の連続取得が社会的信頼に繋がるなど、多くのメリットを感じています。

## 環境に対する長期目標に対して

SDGsの2030年達成、カーボンニュートラル2050年達成の長期目標に向けて最大限協力致します



# 医療・介護・福祉分野だからできるSDGs

## SDGs No.3 「すべての人に健康と福祉を」

私たち法人の最も貢献できる目標です。

健康・医療・福祉・生活の総合ビジョンを描き、上位にはフィットネスを掲げ、未病・予防に主眼を置き、すべての人々の健康に健康経営「ホワイト500」のノウハウを提供します。

また、必要な福祉支援が届いていない地域住民に適正な支援を届けるために、複数分野にまたがる複合化・複雑化した課題のために誰一人取り残さないセーフティネット「重層的支援体制整備事業」等にも積極的に取組んでまいります。

環境、健康、ESG、SDGsを法人基本行動と考えております。



## SDGs No.13 「気候変動に具体的な対策を」

健康と福祉だけでなく出来る事があります。

医療・介護・福祉事業を運営するにあたり、電気・ガス・燃料等の利用で、温室効果ガスが排出されます。感染予防では、使い捨ての医療材料も多く、患者・職員を守るために必須です。

これらを可能な限り減らす事でCO<sub>2</sub>など温室効果ガス減少につながり、結果として飢餓が減り、紛争が無くなり、SDGs最初の目標「貧困をなくそう」の達成が可能となります。そしてこの活動が必要な医療・福祉を受けられるスタートの取組みと考えます。



## カーボンニュートラル実現に向けてできることから

いま出来る事として、CO<sub>2</sub>排出量や水資源の削減目標を明確に立て、実践・継続する事が重要です。

また、エコ製品、脱炭素型製品の購入、食品ロス、サステナブルなファッション、設備の予防保全により機器の耐用年数を延ばすなど、全てカーボンニュートラルに繋がると信じています。

鹿児島市に新築移転した病院は、設計段階から環境経営のノウハウを生かし、集大成として意匠も含めて徹底的に脱炭素社会に向けた取り組み（GX：グリーン・トランスフォーメーション）と防災を意識した病院が完成致しました。

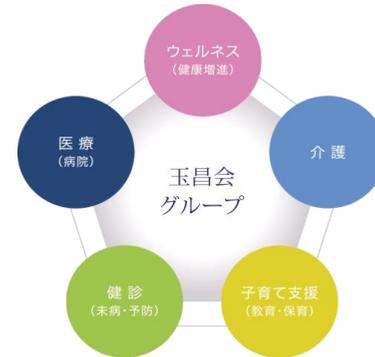
始良市では「新病院街づくり構想」を計画しており、ZEB(ゼロエネルギービルディング)の活用を予定しております。

# ■ 事業の概要・規模・適用範囲

## ● 法人概要

- 法人名称・代表者 医療法人玉昌会 理事長 高田 昌実  
住所 鹿児島県鹿児島市泉町2番3号 そうしん本店ビル4階  
事業年度 4月から翌年3月  
事業内容 医療・介護・福祉サービスの提供  
法人総職員数 1,020名（2024.6現在）うち法人事務局職員数 59名
- 法人グループ 社会福祉法人 幸友会「かずみ保育園」、株式会社JOY「WellBe Club」
  - 始良地区 担当理事 加治木温泉病院長 夏越 祥次
  - 鹿児島地区 担当理事 キラメキテラス ヘルスケアホスピタル院長 上村 章

## 法人グループビジョン



## 医療

### ・キラメキテラス ヘルスケアホスピタル（鹿児島市）

- 機能 病院：回復期・慢性期・人工透析・健診  
ベッド数 198床  
階数・延べ面積 7階RC造：9,641㎡  
職員数 353名（2024.6現在）



### ・加治木温泉病院（始良市）

- 機能 病院：回復期・慢性期・人工透析・介護医療院  
ベッド数 290床  
階数・延べ面積 4階RC造&F造：11,730㎡  
職員数 443名（2024.6現在）



### ・介護医療院 おはな・JOYメディカルクリニック（始良市）

- 機能 クリニック・介護医療院  
ベッド数 60床  
階数・延べ面積 3階F造：7階2,400㎡  
職員数 57名（2024.6現在）



Save the earth

# ■ 事業の概要・規模・適用範囲

## 在宅サービス事業

事業範囲 鹿児島市 7事業、始良市 4事業 (令和6年6月現在)  
総ベッド数 65床(鹿児島地区36床、始良地区29床)  
総延べ面積 3,840㎡ 職員数 鹿児島地区 59名 始良地区 38名(2024.6現在)

### ・鹿児島地区地域在宅事業

看護小規模多機能型居宅介護 キラメキ麗  
星の街  
居宅介護支援事業所 キラメキ  
ヘルパーステーション 甲東  
訪問看護ステーション まむ鹿児島  
デイサービス 風の街  
住宅型有料老人ホーム ほりえ

キラメキ 麗



ほりえ



### ・始良地区地域在宅事業

看護小規模多機能型居宅介護 お福、とまり木  
居宅介護支援事業所 めく杜  
訪問看護ステーション まむ  
デイサービス しあわせ通り らぶ  
住宅型有料老人ホーム おはな別館  
グループホーム 木もれ日  
花いちもんめ

お福



おはな別館



## 玉昌会グループ

社会福祉法人 幸友会 かずみ保育園  
株式会社JOY WellBe Club

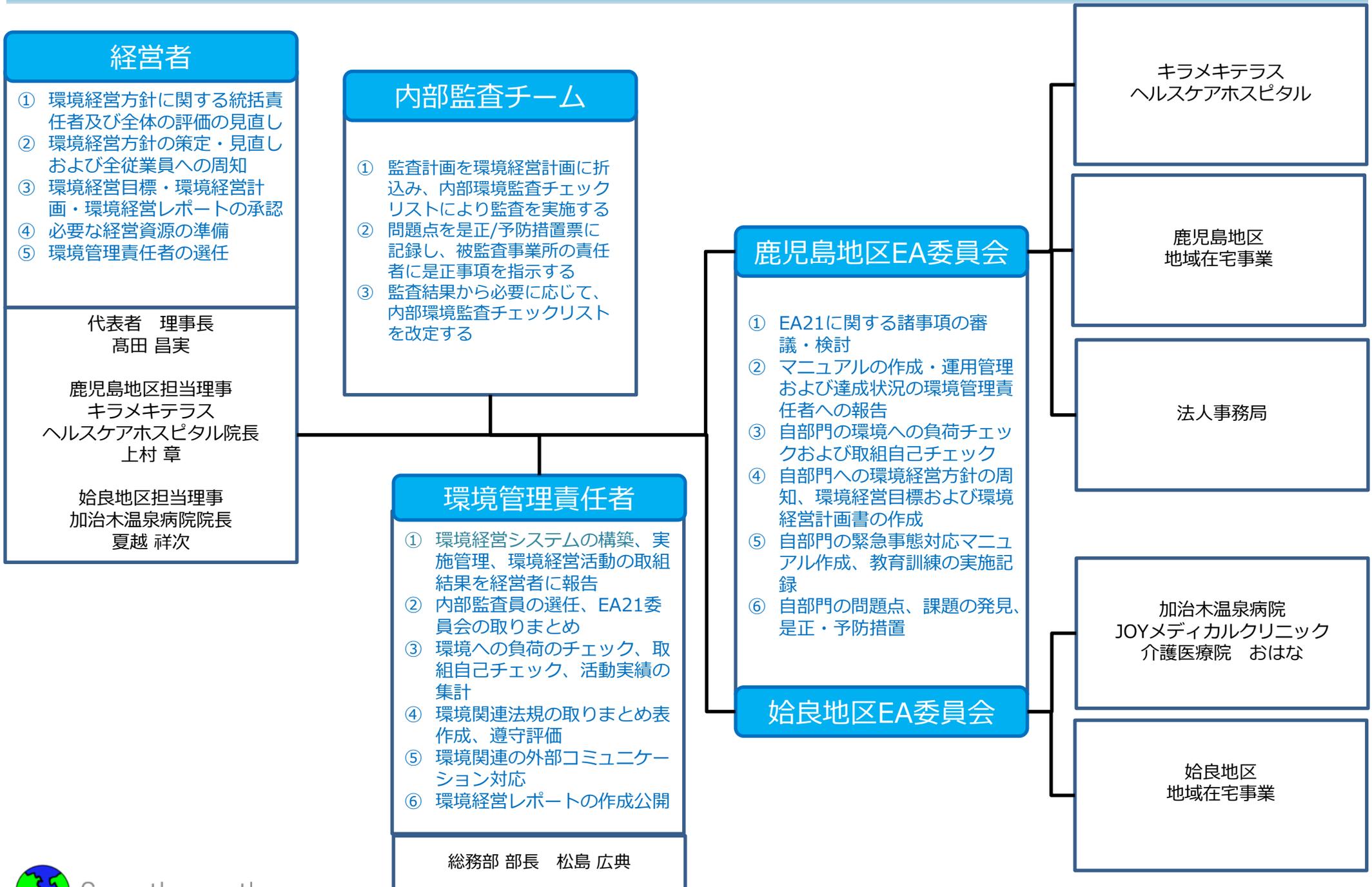
かずみ保育園



WellBe Club



# ■ 環境経営システム実施体制・役割・権限



**経営者**

- ① 環境経営方針に関する統括責任者及び全体の評価の見直し
- ② 環境経営方針の策定・見直しおよび全従業員への周知
- ③ 環境経営目標・環境経営計画・環境経営レポートの承認
- ④ 必要な経営資源の準備
- ⑤ 環境管理責任者の選任

代表者 理事長  
高田 昌実

鹿児島地区担当理事  
キラメキテラス  
ヘルスケアホスピタル院長  
上村 章

始良地区担当理事  
加治木温泉病院院長  
夏越 祥次

**内部監査チーム**

- ① 監査計画を環境経営計画に折込み、内部環境監査チェックリストにより監査を実施する
- ② 問題点を是正/予防措置票に記録し、被監査事業所の責任者に是正事項を指示する
- ③ 監査結果から必要に応じて、内部環境監査チェックリストを改定する

**環境管理責任者**

- ① 環境経営システムの構築、実施管理、環境経営活動の取組結果を経営者に報告
- ② 内部監査員の選任、EA21委員会の取りまとめ
- ③ 環境への負荷のチェック、取組自己チェック、活動実績の集計
- ④ 環境関連法規の取りまとめ表作成、遵守評価
- ⑤ 環境関連の外部コミュニケーション対応
- ⑥ 環境経営レポートの作成公開

総務部 部長 松島 広典

**鹿児島地区EA委員会**

- ① EA21に関する諸事項の審議・検討
- ② マニュアルの作成・運用管理および達成状況の環境管理責任者への報告
- ③ 自部門の環境への負荷チェックおよび取組自己チェック
- ④ 自部門への環境経営方針の周知、環境経営目標および環境経営計画書の作成
- ⑤ 自部門の緊急事態対応マニュアル作成、教育訓練の実施記録
- ⑥ 自部門の問題点、課題の発見、是正・予防措置

**始良地区EA委員会**

キラメキテラス  
ヘルスケアホスピタル

鹿児島地区  
地域在宅事業

法人事務局

加治木温泉病院  
JOYメディカルクリニック  
介護医療院 おはな

始良地区  
地域在宅事業

# ■重要課題(マテリアリティ)について

## ● 経営における重要課題（マテリアリティ）をチャンスに

経営と環境への取組みの方向性を一致させ、環境経営を実現させるためには、経営における重要課題を評価・検討し、チャンスと捉えそれらを環境への取組みに映させることが必要です。「品質マネジメント」および「環境マネジメント」の手法により、法人の内外における重要課題を整理して中長期的「環境経営方針」及び短期的な「環境経営目標」を策定し、情勢に応じて柔軟に対応しながら、進化する環境経営に取り組んでいます。

### マテリアリティ（重要課題）をチャンスに

外部の課題				
要 因	温室効果ガスの増加から地球温暖化による気候変動（豪雨熱波、海面上昇等）による社会・経済への影響大	<b>環境全般</b> 脱炭素・水資源・海洋保全・生物多様性 気候変動・循環型経済・廃棄物	GXを意識した環境経営を目指し環境保全活動へ継続的な取組み、GXに協力するためにEJアクション21をツールに目標達成に向けた環境活動を継続	自 己 評 価
	ロシア・ウクライナ戦況による物価高騰	<b>資源</b>	省エネルギーへの取組み削減目標設定、環境経営	
	地域包括ケアシステムの低い認知率 ケアサービスの人材不足	<b>社会基盤・生活向上</b>	心身共に健全でウェルネスな地域共生社会を支える地域包括ケアシステムネットワークの基盤構築を目標	
	30年までにSDGsが達成できるか	<b>社会課題解決</b>	EA21環境基本方針でSDGsへの取組宣言	
	準備に時間がかかり業務負担が増える 産業医契約・ストレスチェックの実施等	<b>健康経営</b>	持続可能な安定的な法人運営上の適切な投資活動と捉えホワイト500認定を更新維持	
	価値観の異なる人材のコミュニケーション不足による生産性の低下懸念	<b>ダイバーシティ&amp;インクルージョン</b>	外国人実習生の積極的な受入れ・障害者・高齢者等多種多様な雇用、マイノリティへの理解	
	アフターコロナ景気の停滞 業種によって景気回復に大きな差がある	<b>イノベーション・新商品開発・新規事業開発</b>	新たな市場を開拓し続ける好循環を作り、組織のパフォーマンスを大きくさせる「SmartWork経営」目標	
	建物の老朽化、耐震補強対策不足、防災対策準備不足	<b>インフラ・防災</b>	病院の新築移転継続中2年後を目途に完了予定すべての事業所のBCP策定済	
	人手不足、業務多忙で指導時間が無い、育成能力不足	<b>人材育成</b>	人材開発部による計画的、階層的研修等実施	
	人口減少、大都市一極集中 高齢化、交通・防災能力の低下	<b>地域創生・地域コミュニティ</b>	共生社会連携室設置 地域コミュニティ協議会評議員へ法人参加	
	家庭でのDV、職場でのパワハラ、セクハラ等	<b>人権</b>	法人の就業規則及び懲罰委員会で対応	
	健康寿命を阻害する喫煙、運動不足、高血圧等	<b>ヘルスケア</b>	全世代のヘルスケアに対応した医療・福祉サービスを含めた多様な生活支援サービスの提供	
	IT技術人材不足、基幹システム老朽化、経営層の同意が取れない	<b>生産性向上・DX・情報システム</b>	電子カルテシステム入替済、トップの同意 情報管理室の充実	
外的要因（災害、世界情勢、パンデミック等）による不安定な供給	<b>サプライチェーン・調達</b>	SCM（サプライチェーンマネジメント）の検討		
<b>内部の課題</b>				



# ■ 新築病院と既存病院の分野別 原単位比較から見た事

キラメテラスHCH(築3年)と加治木温泉病院(築46年)の病院延べ面積を基にCO<sub>2</sub>排出量・廃棄物排出量・水使用量について「原単位」で比較して環境にどれほど影響があるか分析評価いたしました。

新築及び既存病院の原単位 (1㎡当り) 比較 (2023年度)			
病院名		キラメテラスHCH	加治木温泉病院
延べ面積		9,641㎡	11,730㎡
階数		7階RC造	4階RC造&F造
病床数		198床	290床
築年数		3年	46年
職員数		353名	443名
CO <sub>2</sub> 排出量 kg/CO <sub>2</sub>	スコープ1 ※1	41,425	246,034
	スコープ2 ※2	948,480	812,151
	計	989,905	1,058,185
	原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /㎡)	102.7	90.2
エネルギー 使用量 Gj	ガソリン・重油・ガス	648	3,783
	電気・冷温水	19,974	17,046
	計	20,622	20,829
	原単位 (Gj/㎡)	2.1	1.8
廃棄物 kg	一般廃棄物	128,800	80,800
	産業廃棄物	16,400	10,200
	特別管理産業廃棄物	87,900	142,900
	計	233,100	233,900
	原単位 (kg/㎡)	24.2	19.9
水使用量 ㎡	使用量	32,266	66,862
	原単位 (㎡/㎡)	3.3	5.7

結果として下記の各指標については年代によるアメニティ（快適性・設備の機能）の違いが大きく関わっています。

## ・CO<sub>2</sub>排出量に関して

キラメテラスHCHは、全国平均95.9%(※3)と対比すると大きくなっています。要因として、全館24時間機械換気設備導入によるものであり感染対策にクリーンな換気システムは必須設備です。

## ・エネルギー使用量に関して

キラメテラスHCHがエネルギー効率の良い建物です。徹底した省エネ設計及びエネルギーセンターからの熱源供給による結果と思われま。

## ・廃棄物排出量に関して

キラメテラスHCHは、規模が小さいにも関わらず原単位が大きく詳細調査を課題としました。

## ・水使用量に関して

増加の要因として、キラメテラスHCHの井水のトラブルによる一時的に市水に切り替えたことと、加治木温泉病院の埋設配管からの漏水の為使用量増加となった。

※1 スコープ1 (重油・ガス・ガソリン) ※2 スコープ2 (電力・他供給される熱源)

※3 「2021年 病院における低酸素社会実行計画 フォローアップ実態調査報告書」より



# ■ 病院における低炭素社会実行計画(2030 年度削減目標)に向けて

2病院合算によるCO<sub>2</sub>排出量原単位(kg-CO<sub>2</sub>/㎡)は、※①2006年度（基準年度）比（**-37.8%**）また、法人全体では、（**-38.8%**）であり

「病院における低炭素社会実行計画 2030年度目標の（25%削減）」の数値目標は達成されています。

しかし国の地球温暖化対策計画は、2030年度までに2013年度比46%削減が目標です、国の削減目標に向けて更に挑戦を継続いたします。

法人全体の二酸化炭素排出量「原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /㎡)」 基準年度からの推移								
事業所数		加治木温泉病院 枳殻テラスヘルスケアホスピタル		法人全体 病院×2、福祉事業所×7				(参考)
建物の延べ面積		2病院合算 21,371㎡		建物全体の延べ面積合算 27,611㎡				合算 23,931㎡
築年数		3年～46年		3年～46年				
		基準年度	2023年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2015年度 全事業所 対象
		2006年度						
二酸化 炭素 排出量  kg/CO <sub>2</sub>	スコープ1	※① 2006年度を基準 127.1 kg-CO <sub>2</sub> /㎡を <100.0> として 2030 年度までに 25.0%削減(95.3 kg-CO <sub>2</sub> /㎡)にする	287,459	413,877	680,879	676,166	408,115	483,440
	スコープ2		1,403,242	1,778,044	1,762,557	1,576,925	1,739,520	1,825,004
	計		1,690,701	2,191,921	2,443,436	2,253,091	2,147,635	2,308,444
	原単位 (kg-CO <sub>2</sub> /㎡)		79.1	79.4	88.5	81.6	77.8	96.5
127.1 kg-CO <sub>2</sub> /㎡を<100.0> として4年間の推移			<62.2>	<62.5>	<69.6>	<64.2>	<61.2>	<75.9>

※①日本医師会・4病協等による2021病院における低炭素社会実行計画 フォローアップ実態調査 報告書から、数値目標指標はCO<sub>2</sub>排出原単位（病院延床面積当りのCO<sub>2</sub>排出量、単位はkg-CO<sub>2</sub>/㎡）とし、基準年度を2006年度127.1 kg-CO<sub>2</sub>/㎡<100.0>から2030年度までに25.0%削減(対前年削減率 1.19%)することを目指す。



# ■ 外部コミュニケーション

## 外部役員・嘱託・講師

鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会	世話人
鹿児島県透析医会	会長
始良地区地域医療構想調整会議	委員
鹿児島県地域医師育成	特別顧問
日本性機能学会・思春期学会	理事
鹿児島県慢性期医療協会	監事
鹿児島県慢性腎臓病対策協議会	委員
鹿児島県薬剤師協会	理事
幼稚園・中学校	学校薬剤師 2件
鹿児島県言語聴覚士会	会長
鹿児島県災害リハビリテーション推進協議会	世話人
小・中・高・専門学校	校医 1件
企業・学校・医療法人	産業医 2件
中・高・専門学校・大学	講師 19件
その他協議会・委員会等	その他 98件
子ども食堂への食材提供、地域のボランティア清掃、	応急手当普及員派遣等

## 主な外部評価

日本経済新聞 スマートワーク経営

日本医療機能評価機構 病院機能評価

日本政策投資銀行 DBJ 健康・環境・BCP格付け

環境省 エコアクション21

経済産業省 健康経営優良法人ホワイト500

EA21 2021九州環境経営レポート大賞受賞

グリーンオフィスかごしま 令和5年度優良事業所 表彰



# ■地域のボランティア清掃

## ● 鹿児島地区

キラメキテラスヘルスケアホスピタル近隣の二中通り清掃活動  
そうしんビル周辺ボランティア清掃

## ● 始良地区

加治木温泉病院近隣の春日神社で清掃を行いました。

## ● 法人全体

水辺サポート事業参加



# ■ 環境コミュニケーション・教育訓練

年間ボランティア計画及び訓練・研修計画に沿った実績です

外部コミュニケーション		内部コミュニケーション	
		鹿児島地区	始良地区
4月	始良地区地域ボランティア清掃	EA21委員会	
5月	日経SDGs経営調査2023		EA21委員会
6月		EA21委員会	
7月	始良地区地域ボランティア清掃		EA21委員会
8月	鹿児島地区地域ボランティア清掃	EA21委員会	EA21委員会
	セミナー(脱酸素を目指す環境経営のすすめ)		
	かごしま国体鹿児島大会CO2オフセット		
9月	環境経営レポート大賞へ応募		
	セミナー(グリーンファイナンスセミナー)		
	エコアクション21更新審査		
10月	始良地区地域ボランティア清掃	EA21委員会	EA21委員会
	エコサポートTGAL環境事業所訪問		
11月	水辺サポート推進事業		
12月	鹿児島地区地域ボランティア清掃	EA21委員会	EA21委員会
1月			EA21委員会
2月	株式会社THCH 鹿児島市環境管理優良事業所受賞	EA21委員会	EA21委員会
3月	始良地区地域ボランティア清掃		EA21委員会

教育・訓練		
	鹿児島地区	始良地区
4月	環境について新入職者研修	
		加治木温泉病院漏油対応訓練
5月	株式会社THCH 外防災・漏油訓練	
6月		産業廃棄物緊急事態訓練
8月		始良地区在宅施設3施設防災訓練
9月	院内研修「アクションとは」	花いちもんめ防災訓練
		加治木温泉病院漏油対応訓練
11月	産業廃棄物緊急事態訓練	加治木温泉病院防災訓練
	麗 防災訓練	
	ほりえ 防災訓練	
	株式会社THCH 外防災・漏油訓練	
2月		加治木温泉病院防災訓練
		加治木在宅施設等5施設防災訓練
	BCP 大規模災害訓練	BCP 大規模災害訓練
3月	院内研修「アクションとは」	院内研修「SDGsって何だろう」
	麗 防災訓練	花いちもんめ防災訓練
	ほりえ 防災訓練	始良地区在宅施設2施設防災訓練
		始良地区在宅施設3施設防災訓練



# ■ 環境経営活動計画

## ● 環境経営活動・行動計画と実施内容

評価の判定基準は環境経営目標&環境経営計画書5-01に基づきます

環境経営方針	取組事項	実施内容	評価
法規等の順守	化学物質管理関連法規の順守	管理表を活用した保管・使用時の適正な管理	◎
	廃棄物関連法規の順守	特定管理廃棄物委託業者のマニフェスト確認	◎
環境負荷の削減と環境改善			
①省エネ、二酸化炭素の削減	電気使用量によるCO <sub>2</sub> 削減	空調フィルターの計画的清掃	◎
		空調温度管理の徹底	○
		施設担当院内巡回時の確認徹底	○
	燃料使用量によるCO <sub>2</sub> の削減	段階的なエコカー導入の検討	△
		ワゴン車を代替する軽自動車の有効活用	○
		エコドライブの徹底	○
冷温水供給によるCO <sub>2</sub> の削減 (ヒートポンプ・ヒート交換機等)	空調温度管理の徹底	◎	
	施設担当院内巡回時の確認徹底	◎	
②資源の有効的活用、3R推進	設備のリユース	旧病院の撤去備品の活用(空調機器、什器備品)	◎
③廃棄物の削減及び適正管理	電カル更新によるペーパーレス化	申込書・同意書等の電子的保管	◎
④水使用量の削減	節水	機器の点検、修繕を徹底する	○
		浴槽水のオーバーフローを減らす	○
⑤化学物質使用量の削減と安全管理	感染症対策と適正管理の徹底	毎月の使用料把握による異常値発生時の対応	○
		保管体制強化・日報管理による管理の徹底	◎
⑥医療・福祉サービスの効率的提供	病院・在宅施設の稼働率の向上	地域連携・病院連携の強化	○
⑦地域ボランティア活動の継続	定期的なボランティア活動の企画	地域に密着したボランティア活動の継続	◎
教育・研修の継続	環境経営の推進と周知	エコアクション委員会活動による取組推進	◎
		新入職研修・役職者フォローアップ研修	◎



# ■ 環境経営目標・行動計画の実績及び中期目標

## ● 2023年度環境経営目標の実績及び2024年度以降目標

鹿児島市に新築移転後3年が経過し、実績値が把握できて初めての比較となります。

2024年度以降の目標は、2023年度に対比し▲0.5%で設定しています。

排出係数一覧（2022年度調整後排出係数CO<sub>2</sub>/kWh）

九州電力：0.475      九州エナジー：0.439

他からの供給熱源：0.057kg-CO<sub>2</sub>/Mj

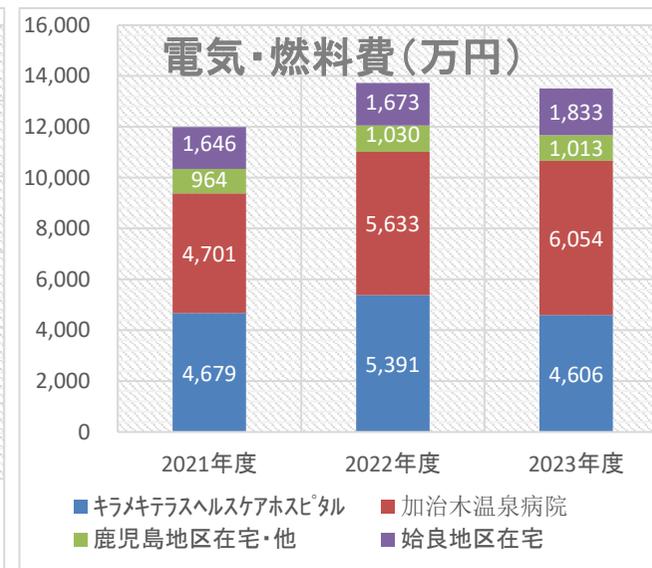
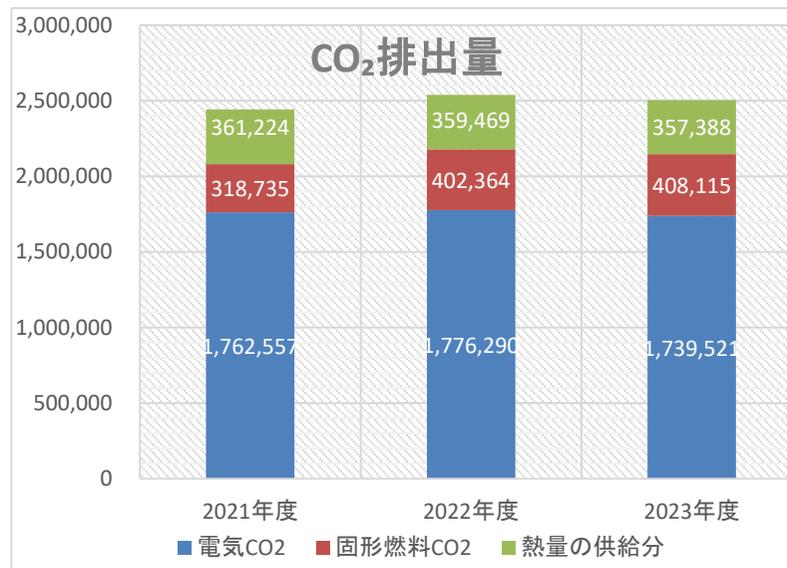
環境経営目標と実績値									
目標	年度	2022年度 (基準年)	2023年度 (実績値の現状把握の年とします)			2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	
		実績	実績	目標値	基準年比 %	評価	(2023年度比) ▲0.5%	(2023年度比) ▲1.0%	(2023年度比) ▲1.5%
「全体の二酸化炭素排出量削減」	(単位kg-CO <sub>2</sub> )	2,538,123	2,505,024	2,525,433	▲1.5%	○	2,492,499	2,479,974	2,467,449
・電気使用量による二酸化炭素排出量削減		1,776,290	1,739,521	1,767,408	▲3.1%	○	1,730,823	1,722,126	1,713,428
・燃料及び他からの供給熱源使用量による二酸化炭素排出量削減		761,833	765,503	758,025	≒0.5%	×	761,675	757,848	754,020
「水資源の節水」(水の使用量削減)	(単位m <sup>3</sup> )	102,058	114,488	101,547	+12.1%	×	113,916	113,343	112,771
「廃棄物排出量削減」	(単位t)	570.2	574.2	567	+0.7%	×	571	568	566
・産業廃棄物削減		322.0	305.9	320	▲5.0%	○	304	303	301
・一般廃棄物削減		248.2	268.3	247	≒0.8%	×	267	266	264
「紙使用量削減」(コピー用紙使用量削減)	(単位kg)	13204.9	12493.3	13,139	▲5.4%	○	12,431	12,368	12,306
「化学物質の適正管理」	(単位kg)	2752.2	2150.2	保管管理は点検表等適正に管理しています			適正管理	適正管理	適正管理
「地域貢献」(地域清掃ボランティア活動等)	(単位回)	14	16	14		○	14回以上	14回以上	14回以上

# ■ 環境経営実績と現状把握

## 「エネルギー使用によるCO<sub>2</sub>排出量削減」

単位：t-CO<sub>2</sub>

年度 項目	2022年度		2023年度	
	基準年実績	目標値	実績	増減
CO <sub>2</sub> 総排出量	2538.0	-0.5%	2,505.0	-2.5% ↘
電気使用量 による CO <sub>2</sub> 排出量	1,776.2	-0.5%	1,739.5	-3.1% ↘
燃料・他熱 源 による CO <sub>2</sub> 排出量	761.8	-0.5%	765.5	+0.5% ↗

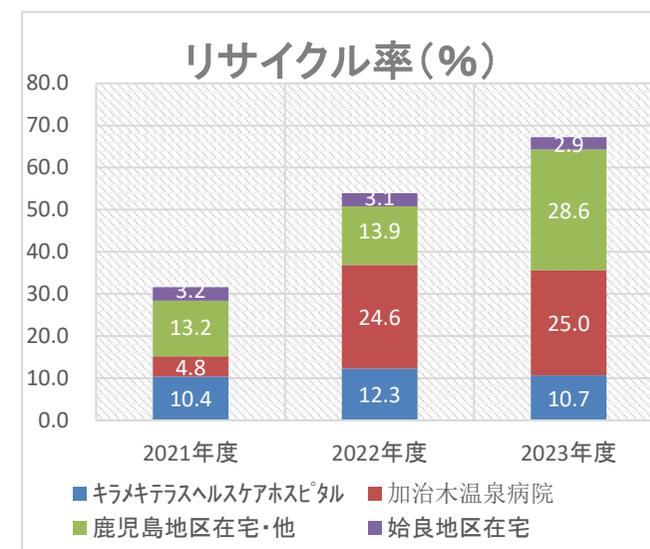
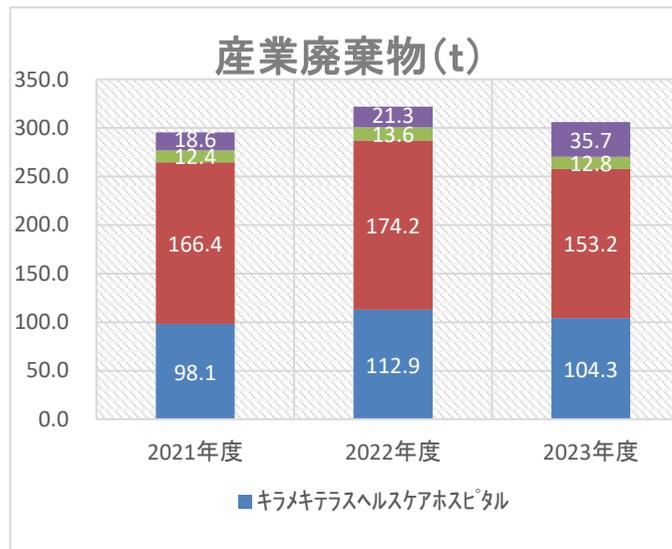
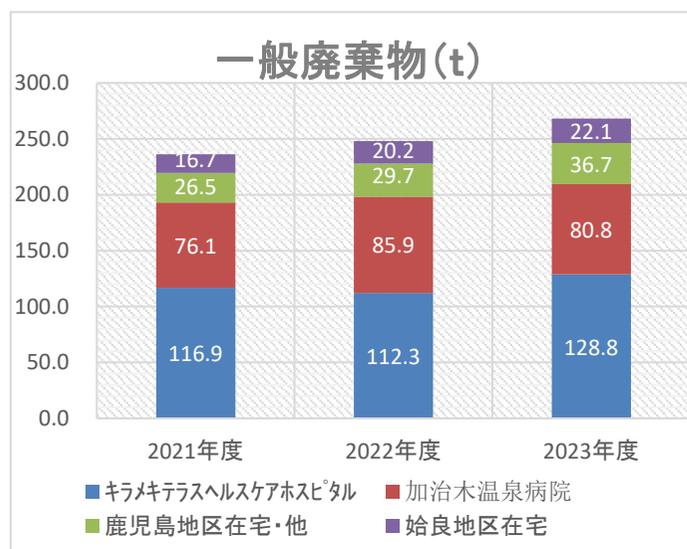


### ● 取組結果と次年度対策

項目	取組事項	評価	次年度対策
省エネ、二酸化炭素の削減	CO <sub>2</sub> 総排出量	全体的に若干削減する事が出来ました。要因として、始良地区在宅施設以外の事業所の節電が上手くいった点です。	電気、燃料、冷温水それぞれに対して削減の継続を各事業所に周知する。
	電気使用量	始良地区在宅以外は、基準年度の電気消費量を下回っている。(介護医療院おはなが開院した影響)	感染症対策を徹底しつつ、空調の適正管理に努めます。
	燃料使用量	全体として若干増加しています。原因として、加治木温泉病院の重油使用量の増加。(温泉水利用中止によるボイラー運転時間増加の為)	次年度も各事業所でエコドライブによるガソリン使用量の削減。 お湯の節水によるガス・重油使用量の節約
	冷温水熱源使用量 (2021年2月の新病院開設から熱源使用を開始)	目標を達成しているが、空調用の冷水と、お風呂用の高温水が前年度より増えている。	次年度は、空調管理とお風呂の節水を現場に周知して徹底するように指示

# ■ 環境経営実績と現状把握

## 「廃棄物の削減」「リサイクルの推進」

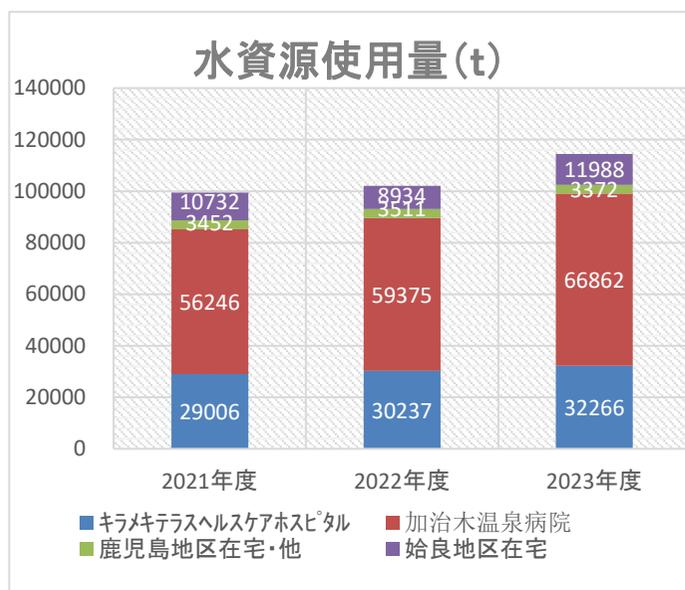


## ● 取組結果と次年度対策

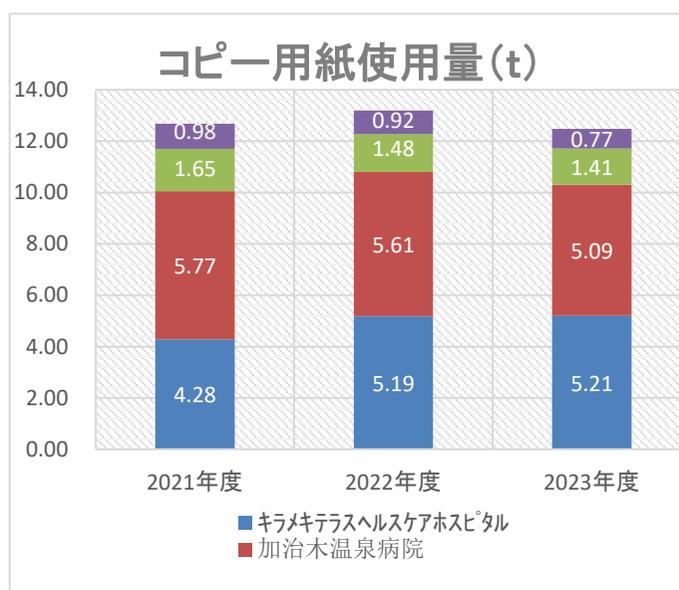
項目	取組事項	評価	次年度対策
廃棄物削減	一般廃棄物	増加している。キラメキテラスと鹿児島地区在宅の増加が原因。 キラメキテラスは入院患者の増加、鹿児島地区在宅は利用者の増加が原因。	委員会で現状を周知し、一般廃棄物の排出を抑えるように職員へ指示する。
	産業廃棄物(特管)	始良地区在宅だけが介護医療院おはな開院の影響で、増加している。	介護医療院おはなを含めて、各施設感染対策を徹底するように指示。
	リサイクル率	ごみの分別を徹底しました。 鹿児島地区在宅が前年度に比べて古紙類と資源ごみが増えている。(利用者増加に伴う) ※2021年度は段ボールのリサイクル率を含んでいません。	リサイクル率の向上のため、資源ごみの分別を徹底します。

# ■ 環境経営実績と現状把握

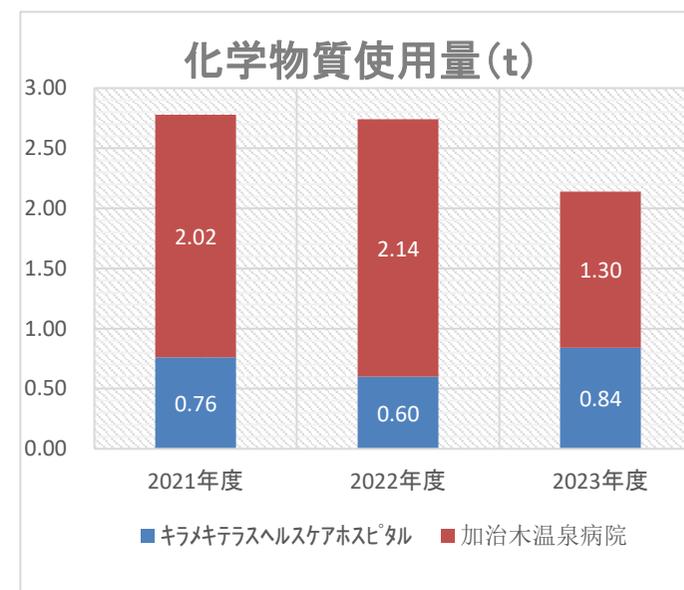
## 「水使用量の削減」



## 「紙使用削減」



## 「化学物質の適正管理」



## ● 取組結果と次年度対策

取組事項	評価	次年度対策
水資源使用量削減	増加している。原因は、加治木温泉病院で発生した漏水と、介護医療院おはなの開院による影響	漏水防止のための定期点検の実施。 各事業所へ節水の指示
コピー用紙使用量削減	目標達成	目標達成の継続(2024年度環境経営活動目標より削除)
化学物質使用量削減 保管管理の徹底	両地区とも適正管理を行っている。	継続して適正管理を実施



# ■ マテリアルバランス（事業活動による環境への影響）

マテリアルインプット（年間投入量）		
材料	お薬	574.95 t
	医療材料	
	食材	
	介護用品	
	事務用品	
エネルギー	電気	3,768,101 kWh
	ガソリン	68,447 ℓ
	重油	45,170 ℓ
	ガス	55,478 m <sup>3</sup>
	冷温水	6,269,970 Mj
水使用	上水	78,198 t
	地下水	36,290 t
	温泉	0 t
化学物質	次亜塩素酸Na	2150.2 kg
	酸化エチレン	
	ホルマリン	

事業活動	
<b>「医療」</b> 病院 クリニック 健診	薬局 人工透析 リハビリ レントゲン 厨房 手術 売店 消毒・滅菌 医療事務
<b>「介護・福祉」</b> 子育て 介護医療院 デイサービス 通所リハビリ グループホーム 居宅介護支援事業 住宅型有料老人ホーム ヘルパーステーション 訪問看護ステーション 看護小規模多機能型居宅介護	空調 照明 浴室 トイレ・洗面 車両 ボイラー

アウトプット（年間発生量）			
温室効果ガス	二酸化炭素	スコープ1	408,115 kg-CO <sub>2</sub>
		スコープ2	1,739,520 kg-CO <sub>2</sub>
水質汚濁	下水道	鹿児島市	32,266 t
	公共用水域	始良市	78,850 t
廃棄物	一般廃棄物	焼却	268.31 t
		最終埋立	26.7 t
	産業廃棄物	リサイクル	0.7 t
	特別管理産業廃棄物	最終埋立	279.24 t

マテリアルインプットの材料はアウトプットの廃棄物と同一量としている。



# ■ 環境関連法規の遵守

## 主な環境関連法規遵守状況 (法人全体)

項目	関連法規等	設備、内容
大気汚染	大気汚染防止法	非常用発電機
水質汚濁	水質汚濁防止法	特定施設
	下水道法、浄化槽法	浄化槽設備、排水処理設備、油・水分離設備
化学物質	化管法	中央材料室・検査室・浴室消毒・透析室
	消防法	危険物（重油・軽油）取扱に係る部分
廃棄物 リサイクル	廃棄物処理法	感染性、産廃、廃プラ、汚泥、一般廃棄物
	家電リサイクル法	家電製品
	自動車リサイクル法	車両
地球環境保全	フロン排出抑制法	冷凍機、第一種特定製品（パッケージエアコン等）
	省エネ法	エネルギー使用の合理化
その他	労働安全衛生法	中材室滅菌装置
	高圧ガス保安法	医療ガス
	水道法、温泉法	水質検査
	グリーン購入法	物品購入時

### ● 遵守状況の確認と違反・訴訟の有無、評価

当法人に適用される関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、訴訟もありませんでした。

評価年月日：2024年4月1日

評価者 環境管理責任者 松島 広典



# ■ 代表者による全体の評価と見直し

新型コロナが「2類相当」から「5類」へ移行しましたが、依然としてコロナウィルスの脅威が社会から消えたわけではなく、引き続き適切な感染対策が必要です。いま世界中で地球温暖化を防ぐために様々な取組みが行われています。玉昌会グループでは環境経営の長期ビジョンとして、2050年の達成目標（カーボンニュートラル）に向け、EA21の継続・SDGs・GX（グリーンイノベーション）への取組みを行います。地球温暖化対策は待ったなしの状況ですが、幸いにも私共には省エネ対策のノウハウが10年以上あり、更にブラッシュアップし、実行する事で少しでも地球温暖化対策に協力できると考えています。

## ● 環境経営目標の評価

### ・「二酸化炭素排出量削減」について

電力及び燃料使用によるCO<sub>2</sub>総排出量は、削減できました。

特に電力については、2022年度に新型コロナウイルス感染症により、必要以上の空調管理を求められましたが、2023年度は大きなクラスターもなく、適正管理が出来ました。

### ・「廃棄物の適正管理及び削減」について

廃棄物の総量は増えています。増加要因としては、鹿児島地区の入院患者及び、利用者の増加による影響と考えます。ただし、感染性廃棄物の保管管理及び処分は適正に行われております。

引き続き、次年度以降も分別、保管管理を徹底し、感染対策を行います。

### ・「紙資源の削減」について

目標を達成しております。

### ・「水資源の削減」について

増加の要因として、キラメキテラスHCHの井水のトラブルにより一時的に市水に切り替えたことと、加治木温泉病院の埋設配管トラブルによる一時的な漏水の為使用量増加となりました。

### ・「化学物質の適正管理及び削減」について

井水に使用する消毒用次亜塩素酸の必要が無くなったため、使用量が激減しました。また、保管管理は適切になされています。

### ・「医療、福祉サービスの効率化」について

医療部門は高稼働率で推移し、地域住民への治し支える医療を提供しています。在宅事業部門は職員確保が難しくなっており、安心・安全、また満足いただけるサービス提供を行うことが難しい状況が予想されることから、一部事業所の休止に取り掛かっております。

今後は医療と、医療が必要とする在宅サービスに資源を集中し、地域の急性期病院や介護事業所との連携を高めて、さらに質の高いサービスの提供と経営の効率化に努めて参ります。

### ・「地域貢献」について

年間計画に沿って感染対策を行いながら、地域のボランティア清掃活動は継続いたしました。

多くの職員が創意工夫し、地域とコミュニケーションをとっております。

## ● 環境経営システムの見直しについて

心身の健康と同時に価値観や生きがいなど多面的な健康観の元にウェルネス資源に溢れる自己発見・自己開発・自己実現の場を提供し、スタッフ一人一人が全員活躍を目指します。

